

**NISSHO TSUKUBA
COMPANY PROFILE**



経営理念

全社員の幸せを通して
世の中に^{ありがとう}貢献の輪を広げ
幸福総和No.1企業を創る

ビジョン

The One & Only HERO.

会社概要

名称	株式会社日昇つくば
設立	1986年9月29日
本社	〒305-0877 茨城県つくば市片田468(みどりの工業団地内)
AT group	株式会社ATホールディングス 株式会社アドバンテック・レビュース 有限会社大生地産 三協興産株式会社 株式会社キヨスミ産研
資本金	30,000,000円
代表者	堀切 勇真
従業員	54名(2023年4月末現在)
主な事業内容	環境に関する総合コンサルティング業／一般廃棄物及び産業廃棄物(特別管理産業廃棄物含む)収集運搬業 中間処理業(焼却、水処理及び前処理部門)／ビルメンテナンス業
取引排出事業者	官公庁、医療機関、研究機関、製造業等 1,100社以上
取引処分業者	300社以上
取引銀行	筑波銀行 つくば営業部 常陽銀行 守谷支店
許可状況	産業廃棄物 収集運搬: 茨城県(優良認定)、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、群馬県 処分: 茨城県(優良認定) 特別管理産業廃棄物 収集運搬: 茨城県(優良認定)、福島県、栃木県、埼玉県、千葉県、神奈川県、群馬県 処分: 茨城県(優良認定) 一般廃棄物 収集運搬: つくば市、常総市、つくばみらい市、守谷市、土浦市、下妻市 処分: つくば市 (2023年4月現在) ※許可範囲外においても、ネットワークを駆使し最適な業者をご紹介します

沿革

- 1986年 9月 塚田純夫が「有限会社日昇」を設立
- 1987年 4月 つくば市 一般廃棄物収集運搬委託開始
- 1988年 5月 茨城県 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 1989年 6月 一般区域貨物自動車運送業免許取得
- 1991年 4月 常総広域市町村事務組合 一般廃棄物収集運搬業許可取得
- 5月 埼玉県 産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 1992年 10月 「株式会社日昇」へ組織変更
- 1993年 6月 栃木県 産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 1994年 7月 栃木県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 1995年 3月 ビルメンテナンス業開始
- 1997年 6月 東京都 産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 11月 石下町事業系一般廃棄物収集運搬業許可取得
- 1999年 6月 本社をつくば市片田468番地へ移転／一般廃棄物、産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 中間処理業許可取得
※つくば市内研究機関・施設向けの中間処分場として稼働開始
- 2003年 4月 土浦市事業系一般廃棄物収集運搬業許可取得
- 2005年 12月 ISO-14001認証取得
- 2006年 10月 電子Manifestoの運用開始
- 2009年 4月 フロン回収業務を開始
- 2011年 3月 「株式会社日昇つくば」へ社名変更
- 8月 神奈川県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
千葉県 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 2012年 1月 福島県 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 6月 埼玉県 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 8月 東日本大震災 災害支援を開始
- 2014年 4月 茨城県産業廃棄物処分業 優良認定取得
- 5月 茨城県特別管理産業廃棄物処分業 優良認定取得
- 2015年 9月 関東・東北豪雨災害 常総市災害支援
- 2016年 9月 神奈川県 産業廃棄物収集運搬業許可取得
- 12月 茨城県 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業 優良認定取得
- 2021年 11月 AT groupに参画
代表取締役役に堀切勇真が就任
- 2023年 3月 群馬県 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得



産業廃棄物 収集運搬範囲



一般廃棄物 収集運搬範囲



日昇つくばでできること

収集運搬から処分まで最大・最適な対応を実施

収集運搬

一般廃棄物、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を取り扱っているため、廃棄物の性状・形状を問わず専門車両により様々な廃棄物の運搬対応が可能です。

収集運搬許可車両



塵芥車 12台



10tパワーマグナス車 1台



アームロール車 5台(4t 2台、8t 1台、10t 2台)



3tパワーゲート車 2台



4tユニック車 1台



2t保冷車 1台

その他: 4tダンパー車 1台 / 4tダンプ車 2台 / 2t保冷車 1台 / バン 1台

取扱品目

【産業廃棄物】

燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※1)(※2)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(※1)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(※1)(※2)、鉱さい、がれき類(※2)、ばいじん (※1)自動車等破砕物を除く(※2)石綿含有産業廃棄物を含む

【特別管理産業廃棄物】

廃油(揮発性、有機塩素系)、廃酸(pH2.0以下)、廃アルカリ(pH12.5以上)、感染性産業廃棄物、廃石綿等、燃え殻、ばいじん、汚泥

中間処理

(ハイブリッド型中間処理施設)

水処理

焼却

焼却施設、中和・脱水施設及び破砕分別施設を併用することで、一般・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物等の多種多様な廃棄物の処理とリサイクルが可能な施設です。

取扱品目

【産業廃棄物】

木くず、紙くず、繊維くず、動植物性残さ、廃プラスチック類、廃油、廃酸、動物系固形不要物、廃アルカリ、汚泥、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ゴムくず、がれき類、燃え殻(廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、ゴムくず、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類に付着しているものに限る)

【特別管理産業廃棄物】

感染性産業廃棄物、廃油(揮発性、有機塩素系)、廃酸(pH2.0以下)、廃アルカリ(pH12.5以上)、汚泥

【一般廃棄物】

焼却: 可燃ごみ(紙くず、木くず等)、不燃ごみ(金属くず)、粗大ごみ(家具等可燃物)、実験動物死体及び床敷等、感染性一般廃棄物、ディスプレイ汚泥、し尿を含むビルビット汚泥
破砕: 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ

処理能力

■焼却施設	86.4t/日(24時間)
■脱水施設	56m ³ /日(8時間)
■中和施設	77.6m ³ /日(8時間)
■油水分離施設	32m ³ /日(8時間)
■破砕施設	21.33t/日(8時間)
	160t/日(8時間)

※クローズドシステムによる水処理と、新しい曝気槽の設置により万全の環境汚染対策を実施しています。



焼却施設全景



水処理施設

ATグループの取り組み

有害無害問わず、全ての産業廃棄物処理にお答えします

一括管理・廃棄物コンサル・グループの強み

ATグループのネットワークを駆使することで東日本のみならず日本全国(沖縄県以外)の提携処分・収運業者との連携が可能に。有害無害問わず全ての廃棄物処理、廃棄物を有価物へ、プラントでの緊急対応策構築などトータルでのご提案をいたします。



食品廃棄物リサイクル



飼料化

エコフィードは食品リサイクル法の観点から最優先に取り組むべき再生方法であり、エコフィードを推進していくことで、配合飼料高騰が進む畜産業界にも貢献することが出来ます。食品工場等から排出される様々な食品廃棄物に対し、サイレージ(乳酸菌発酵)、乾燥、リキッド(食品残渣と水等を混合してスープ状に加工)による最適な処理方法をご提案いたします。



肥料化

食品工場等から排出される有機性汚泥や動物性残渣に対し、性状に合った肥料化処理場のご提案、排出量に応じて乾燥菌体肥料として有効利用のご提案が可能です。グループネットワークを駆使し、お客様のご期待にお答えいたします。

日昇つくばの強み

創業から変わらずお客様・地域の皆様に寄り添い貢献いたします

環境課



一般オフィスビルや公共施設の住居・商業施設の清掃管理や廃棄物管理、施設内の植栽の対応をいたします。

感染性廃棄物



病院などから排出される感染性廃棄物は、密閉された容器のまま焼却炉内へ投入、焼却処理します。

災害支援



突発的な災害による廃棄物の受入や回収作業、運搬にも対応いたします。東日本大震災における茨城県への受入に基づく災害ガレキ運搬や関東・東北豪雨災害の支援などに対応しました。

地域貢献



近隣地域の処理困難物・一般廃棄物の対応やつくばエクスプレス周辺の清掃、近隣学校へのパソコンの寄付などを行っています。

機密文書



社外秘、個人情報等、機密性の高い処理についても、運搬→破碎→焼却を自社で完結。廃棄証明書・処理写真までしっかり対応いたします。

事前協議不要



優良認定取得により、本来であれば茨城県で必要な事前協議が不要となり、迅速な対応が可能です。